2019 年度　後期

留学生教育・支援センター
長崎大学日本語・日本文化プログラム（JLCP）
シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅰ　会話	木３	松本	… 1
中級Ⅰ　作文	水１	古本	… 2
中級Ⅰ　読解	火３・木４	永井	… 3
中級Ⅰ　聴解	水３	小谷	… 4
中級Ⅰ　漢字	火２	夛田	… 5
中級Ⅱ　会話	水３	古本	… 6
中級Ⅱ　作文	水４	永井	… 7
中級Ⅱ　読解	火２・３	松本	… 8
中級Ⅱ　聴解	金３	小谷	… 9
中級Ⅱ　漢字	月２	夛田	… 10
【JLCP】中級総合Ａ	月５	古本	… 11
上級Ⅰ　読解	火１・２	松尾	… 12
上級Ⅰ　総合	月５・木２	永井	… 13
上級Ⅱ　総合Ａ	木１・２	夛田	… 14
上級Ⅱ　総合Ｂ	火１・２	中村	… 15
【JLCP】日本探究（日本の地理・歴史・政治）	火３	古本	… 16
【JLCP】日本探究（超境学序論）	水１	松島	… 17
【JLCP】日本探究（現代日本社会の諸相）	月２	松本	… 18
【JLCP】日本探究（メディアで学ぶ日本の文化と社会）	月３	永井	… 19
【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅰ	火５	夛田	… 20
【JLCP】日本の文化・社会・言語Ⅰ	火５	古本	… 21
【JLCP】日本のアニメ	金５	山田	… 22
【JLCP】日本文学Ａ	木５	常吉	… 23
【JLCP】日本の伝統文化	月４	夛田（主）	… 24
【JLCP】茶道	月１	高木	… 25

留学生教育・支援センターで開講されれている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて	… 26

2019 年度　後期	曜日・校時	木曜日・3校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ会話			
担当教員名	松本久美子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	教科書の会話を発展させ，トピックについて自然な会話ができるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書にある会話の内容を理解したあとで，ペアやグループで会話を作り，できるだけ自然な会話ができるように練習します。ペアでの会話テストが2回あります。また，ユニットごとに宿題があります。

第 1 週	10/3	オリエンテーション・Part 0
第 2 週	10/10	Part 1　Unit 1
第 3 週	10/17	Part 1　Unit 2
第 4 週	10/24	Part 1　Unit 3
第 5 週	10/31	Part 1　Unit 4
第 6 週	11/7	Part 1　Unit 5　（テストのペアを決める）
第 7 週	11/14	Part 2　Unit6
第 8 週	11/21	テスト①
第 9 週	11/28	Part 2　Unit7
第 10 週	12/5	Part 2　Unit 8,9
第 11 週	12/12	Part 3　Unit 10
第 12 週	12/19	Part 3　Unit 11
第 13 週	1/9	Part 3　Unit 12
第 14 週	1/16	Part 3　Unit 13
第 15 週	1/23	テスト②

教科書・教材等	『にほんご会話上手！』 （岩田夏穂・初鹿野阿れ著，アスク出版）
成績評価の方法・基準等	テスト①：30% テスト②：30% 授業への参加度（出席・授業態度）：20% 宿題：20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	水曜日・1校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ作文			
担当教員名	古本裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 適当なやり方で，友達や先生に e-mail や手紙を書くことができる。 (2) マナーを守って，SNS に投稿できる。 (3) 自分のことについて，段落の長さとまとまりで詳しく書くことができる。 (4) 基本的な書き言葉のルールを使って，単文を書くことができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

授業では，「宿題提出」，「新しい宿題の確認」，「宿題のシェアとフィードバック」，「書く練習」をします。

第 1 週	10/2	Course Orientation, Write your CV
第 2 週	10/9	How to type Japanese (*Bring your laptop.*)
第 3 週	10/16	Write an e-mail
第 4 週	10/23	Write about your hometown
第 5 週	10/30	原稿用紙の使い方を知る，人を紹介する
第 6 週	11/6	作り方を説明する
第 7 週	11/13	自分の国と日本を比べる
第 8 週	11/20	自分の意見を述べる
第 9 週	11/27	図・表を説明する
第 10 週	12/4	年賀状を書く
第 11 週	12/11	試験 (1)
第 12 週	12/18	いろいろな書き言葉，句読点の打ち方
第 13 週	1/8	「だ・である体」で説明する (1)
第 14 週	1/15	「だ・である体」で説明する (2)
第 15 週	1/22	「だ・である体」で意見を述べる
第 16 週	1/29	試験 (2)

教科書・教材等	配布資料
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題（予習，復習，facebook への投稿）：65% (2) 試験(1)：10%　(3) 試験 (2)：15%　(4) 授業への参加度：10% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・3校時／木曜日・4校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級Ⅰ読解			
担当教員名	永井智香子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	初級を終了した学習者が 15 行から 25 行程度のまとまった長さの文章が読めるようになること。文章を読むことを通じて，そこに出てくる語彙や文型が使えるようになること。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

基本的に教科書にそって進めていきます。1課を 3 コマで進める予定です。予定より遅れた場合は復習の時間を削るなどして調整します。

第 1 週	10/1	オリエンテーション，ウォーミングアップ	10/3	1 課
第 2 週	10/8	1 課	10/10	1 課
第 3 週	10/15	2 課	10/17	2 課
第 4 週	10/22	祝日	10/24	2 課
第 5 週	10/29	3 課	10/31	3 課
第 6 週	11/5	3 課	11/7	4 課
第 7 週	11/12	4 課	11/14	4 課
第 8 週	11/19	1 課～4 課の復習	11/21	小テスト 1（1 課～4 課のテスト）
第 9 週	11/26	5 課	11/28	5 課
第 10 週	12/3	5 課	12/5	6 課
第 11 週	12/10	6 課	12/12	6 課
第 12 週	12/17	7 課	12/19	7 課
第 13 週	1/7	7 課	1/9	8 課
第 14 週	1/14	8 課	1/16	8 課
第 15 週	1/21	5 課～8 課の復習	1/23	小テスト 2（5 課～8 課のテスト）
第 16 週	1/28	テスト返却，総まとめ		

教科書・教材等	『中級を学ぼう　中級前期（第二版）』 （平井悦子・三輪さち子著，スリーエーネットワーク）
成績評価の方法・基準等	小テスト 1：35%　　小テスト 2：35% 宿題：20%　　授業への取り組み：10% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	・最終的なシラバスは授業初日に配布します。変更の可能性有。 ・私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	水曜日・3校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ聴解			
担当教員名	小谷裕子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	ある程度長文のナチュラルスピードの音声から必要情報を的確に拾うことができる。研究の基礎となる語彙や表現を音声教材を通して習得し，総合的な日本語力を高める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

様々な分野の日本のニュース等を聞くことにより学習や研究の基礎となる語彙や表現を習得し，総合的な日本語力を高める。また，日本に対する理解を深める。

第 1 週	10/2	オリエンテーション / plus40 ㊤　（1）風呂敷
第 2 週	10/9	（2）目の錯覚　（3）出前はどんなとき何を？
第 3 週	10/16	（4）小さなお金の大きな働き　（5）ライオンですか，犬ですか？
第 4 週	10/23	（6）世界で一番早く朝が来る国　（6）子どもの耳
第 5 週	10/30	（8）日本人の名字　（9）100 円ショップ
第 6 週	11/6	（10）便利？ 不便？ 電子メール　（11）じゃんけん
第 7 週	11/13	（12）あいさつの思わぬ効果
第 8 週	11/20	中間試験　（13）空からの贈り物
第 9 週	11/27	（14）チンパンジーのアイちゃん
第 10 週	12/4	（15）だるまさんがころんだ
第 11 週	12/11	（16）暖かい色，冷たい色
第 12 週	12/18	（17）どんなストレスに弱い？
第 13 週	1/8	（18）こちら 110 番，事件ですか，事故ですか？
第 14 週	1/15	（19）「少子化」という言葉
第 15 週	1/22	（20）動物占い / 総まとめ/ 学生による授業評価
第 16 週	1/29	期末試験

教科書・教材等	『毎日の聞き取り　plus40 ㊤』（凡人社） 日本語能力試験N3 聴解関連教材（副教材）
成績評価の方法・基準等	授業への参加度：20%　態度：10% 小テスト：20%　中間試験：15%　期末試験：35% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・2校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ漢字			
担当教員名	夛田美有紀		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	今まで勉強した漢字を復習・整理し，新しい漢字や漢字の言葉を使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

練習問題を解き，グループ活動を通して，辞書なしで漢字を読んだり書いたりするヒントを勉強します。

第 1 週	10/1	オリエンテーション
第 2 週	10/8	Part 0，1
第 3 週	10/15	Part 1，付録
第 4 週	10/29	Part 2-1
第 5 週	11/5	Part 2-2
第 6 週	11/12	テスト 1（Part0～2）
第 7 週	11/19	Part 3-1
第 8 週	11/26	Part 3-2
第 9 週	12/3	Part 3-3，復習
第 10 週	12/10	Part 4-1
第 11 週	12/17	Part 4-2，復習
第 12 週	1/7	テスト 2（Part 3～4）
第 13 週	1/14	Part 5-1
第 14 週	1/21	Part 5-2（前半）
第 15 週	1/28	Part 5-2（後半）
第 16 週	2/4	テスト 3（Part 5）

教科書・教材等	『初級が終わったら始めよう　にほんご漢字トレーニング』 （松浦真理子・上妻直博・半田健一著，アスク出版）
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度：5% 宿題：10% テスト 1：20% テスト 2：30% テスト 3：35% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	水曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 日常生活に関連する話題，および身近で個人的に関心がある事について，楽に自信をもって，積極的かつ詳細に話すことができる。 (2) いろいろなところから集めた情報や議論をまとめ，報告することができる。 (3) 日本人に対し，インタビューをスムーズに行うことができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

前半は，シャドーイング練習，ニュースのプレゼン，会話練習を繰り返します。後半は，日本人の考えや長崎大学事情を知るために日本語でインタビュー調査を行い，その結果を発表します。

第 1 週	10/2	オリエンテーション，口頭試験(1)	
第 2 週	10/9	「ディスカッションする」	
第 3 週	10/16	「人の外見や物に関して，詳しく描写・説明する (1)」	
第 4 週	10/23	「人の外見や物に関して，詳しく描写・説明する (2)」	
第 5 週	10/30	シャドーイングテスト (1)	
第 6 週	11/6	「雑談：カジュアルに話す (1)」	
第 7 週	11/13	「雑談：カジュアルに話す (2)」	
第 8 週	11/20	「雑談：聞き上手になる」	
第 9 週	11/27	「雑談：１つの話題を掘り下げて話す」，シャドーイングテスト(2)	
第 10 週	12/4	インタビュー調査・発表	1. 計画
第 11 週	12/11		2. インタビューでの日本語練習，インタビュー実施
第 12 週	12/18		3. 結果のまとめ
第 13 週	1/8		4. プレゼンテーションでの日本語練習，シャドーイングテスト(3)
第 14 週	1/15		5. プレゼンテーション準備
第 15 週	1/22		6. プレゼンテーション
第 16 週	TBA	口頭試験(2)	

教科書・教材等	参考『新版　ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』（凡人社） 『日本語教師のための日常会話力がグーンとアップする雑談指導のススメ』（凡人社）
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題：25%　(2) インタビュー調査：25%　(3) ニュースのプレゼンテーション：20% (4) シャドーイング：15%　(5) 口頭試験：10%　(6) 授業への参加度：5% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	水曜日・4 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	永井智香子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本語の書き言葉を使ってレポートなどが書けるようになることが第一の目標である。それに加えて，日本語にはさまざまな文体があることを理解し，さまざまな文体を駆使してエッセイやストーリーを書いてみることも目標の一つである。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

毎回の授業はプリント教材にそって進めます。毎回作文の宿題があります。

第 1 週	10/2	オリエンテーション，書くとき注意すること 1
第 2 週	10/9	表記のしかた
第 3 週	10/16	話し言葉と書き言葉
第 4 週	10/23	助詞のような働きをする言葉①
第 5 週	10/30	助詞のような働きをする言葉②
第 6 週	11/6	さまざまな文末表現
第 7 週	11/13	書くとき注意すること 2
第 8 週	11/20	小テスト 1
第 9 週	11/27	形式名詞
第 10 週	12/4	エッセイを書こう
第 11 週	12/11	分類をして書く
第 12 週	12/18	書くとき注意すること 3
第 13 週	1/8	さまざまな接続表演
第 14 週	1/15	数や割合を表す表現，引用の書き方
第 15 週	1/22	小テスト 2

教科書・教材等	プリント教材
成績評価の方法・基準等	宿題：20％ 小テスト 1：35％　　小テスト 2：35％ 授業への取り組み：10％ 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	・最終的なシラバスは授業初日に配布します。変更の可能性有 ・私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90％となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・2&3 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級Ⅱ読解			
担当教員名	松本久美子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本社会について書かれた様々な文章を読み，中級後期レベルの読解力をつけるとともに，日本社会に関する知識を得る。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

基本的に予習を前提に教科書に沿って授業を進めます。必ず予習して授業に来てください。また課毎に読解と文法の宿題があります。

第 1 週	10/1	オリエンテーション	第 1 課　病院の色
第 2 週	10/8	第 1 課　病院の色	第 1 課　病院の色
第 3 週	10/15	第 2 課　エープリル・フール	第 2 課　エープリル・フール
第 4 週	10/29	第 3 課　学校の制服	第 3 課　学校の制服
第 5 週	11/5	第 4 課　計算の方法を説明する	第 4 課　計算の方法を説明する
第 6 週	11/12	第 5 課　子供の遊び	第 5 課　子供の遊び
第 7 週	11/19	第 6 課　古くなったお札の行方	第 6 課　古くなったお札の行方
第 8 週	11/26	復習	テスト①：1 課～5 課
第 9 週	12/3	第 7 課　水への関心	第 7 課　水への関心
第 10 週	12/10	第 8 課　南米の先住民は全員 O 型？	第 8 課　南米の先住民は全員 O 型？
第 11 週	12/17	第 8 課　JLPT:N2（読解問題）	第 9 課　座談会「漫画について」
第 12 週	1/7	第 9 課　座談会「漫画について」	第 9 課　JLPT:N2（読解問題）
第 13 週	1/14	第 10 課　ヒトのことばと鳥の歌	第 10 課　ヒトのことばと鳥の歌
第 14 週	1/21		
第 15 週	1/28	復習	テスト②：6 課～10 課

教科書・教材等	『中級を学ぼう：日本語の文型と表現 82，中級中期』（スリーエーネットワーク）
成績評価の方法・基準等	授業への参加度：10% 宿題：10% テスト：80%（テスト①：40%・テスト②：40%） 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	金曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	小谷裕子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	ナチュラルスピードの音声から必要情報を的確に拾うことができる。聞き取った内容を正確に理解し，自分の言葉で再表現できる。また，表記することができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

様々な分野のニュース等を聞くことにより正確な聴解力を向上させるとともに，語彙力・表現力を高める。また，日本社会とその抱える問題について理解を深める。

第 1 週	10/4	オリエンテーション / plus 40 ㊦　（21）　回転寿司
第 2 週	10/11	（23）名前の無い手紙
第 3 週	10/18	（24）あなたの成績は朝ごはん次第　/　ビデオ『乱れた子どもの食生活』
第 4 週	10/25	（26）いちばん上の子は神経質？
第 5 週	11/1	（27）結婚するなら年上？年下？
第 6 週	11/8	（28）太鼓の響き
第 7 週	11/15	（29）睡眠不足じゃありませんか
第 8 週	11/22	中間試験
第 9 週	11/29	（30）お菓子のおまけ
第 10 週	12/6	（31）進化するロボット
第 11 週	12/13	（33）日本を知らない日本人
第 12 週	12/20	（35）若い登山家　/　ビデオ『私が子どもだった頃：野口健』
第 13 週	1/10	（38）屋上の緑化
第 14 週	1/24	（36）変化する就職事情
第 15 週	1/31	（39）英語力や資格は必要ですか　/　総まとめ　/　学生による授業評価
第 16 週	2/7	期末試験

教科書・教材等	「毎日の聞き取り　plus40 ㊦」凡人社（主教材） 日本語能力試験 N2 聴解関連教材（副教材）
成績評価の方法・基準等	授業への参加度：20%　　態度：10% 小テスト：20%　　中間試験：20%　　期末試験：30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	月曜日・2 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅱ漢字			
担当教員名	夛田美有紀		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	今まで勉強した漢字を復習・整理し，新しい漢字や漢字の言葉を使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

新しい漢字とその漢字を使った言葉の学習をし，翌週にその漢字の読みクイズとグループワークを行う。授業の後半で，次の課の新しい漢字とその漢字を使った言葉の学習をする。

第 1 週	9/30	オリエンテーション，1 課「覚える」
第 2 週	10/7	休講
第 3 週	10/21	1 課「問題」・「おまけ」，2 課「覚える」
第 4 週	10/28	2 課「問題」・「おまけ」，3 課「覚える」
第 5 週	11/11	3 課「問題」・「おまけ」，4 課「覚える」
第 6 週	11/18	4 課「問題」・「おまけ」，5 課「覚える」
第 7 週	11/25※	テスト 1（1 課～4 課）
第 8 週	12/2	5 課「問題」・「おまけ」，6 課「覚える」
第 9 週	12/9	6 課「問題」・「おまけ」，7 課「覚える」
第 10 週	12/16	7 課「問題」・「おまけ」，8 課「覚える」
第 11 週	12/23	8 課「問題」・「おまけ」，9 課「覚える」
第 12 週	1/6※	テスト 2（5 課～8 課）
第 13 週	1/20	9 課「問題」・「おまけ」，10 課「覚える」
第 14 週	1/27	10 課「問題」・「おまけ」，11 課「覚える」
第 15 週	2/3＊	11 課「問題」・「おまけ」，12 課「覚える」
第 16 週	2/10＊	12 課「問題」・「おまけ」
	未定※	テスト 3（9 課～12 課）

※試験はコンピュータの部屋が使える日にします。試験の 2 週間前までに日時を決めます。

＊2 月の予定は皆さんの予定を聞いて決めます。

教科書・教材等	『上級･超級日本語学習者のための考える漢字･語彙　超級編』(藤田佐和子著，ココ出版)
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度：8%　読みクイズ：12%　宿題：5% テスト 1：20%　テスト 2：25%　テスト 3：30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	月曜日・5校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】中級総合A			
担当教員名	古本裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	自分の国，社会，文化に関する話題について，まとまった話ができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

授業では，スピーチでの話題転換（discourse structure）や語彙（vocabulary）を勉強します。そして，宿題としてスピーチ原稿を書きます。教師に原稿をチェックしてもらってから，次の授業でスピーチをします。

		授業前半	授業後半	宿題
第 1 週	9/30	オリエンテーション	「いいスピーチとは？」 第 1 課　「まつり」クラス活動	第 1 課　スピーチ作成
第 2 週	10/7	第 1 課　発表	第 2 課　「地理，民族，宗教」クラス活動	第 2 課　スピーチ作成
第 3 週	10/21	第 2 課　発表	第 5 課　「歴史」クラス活動	第 5 課　スピーチ作成
第 4 週	10/28	第 5 課　発表	第 6 課　「私の国と日本の関係」クラス活動	第 6 課　スピーチ作成
第 5 週	11/11	第 6 課　発表	第 7 課　「結婚」クラス活動	第 7 課　スピーチ作成
第 6 週	11/18	第 7 課　発表	第 9 課　「経済と人々の生活」クラス活動	第 9 課　スピーチ作成
第 7 週	11/25	第 9 課　発表	PPT で発表　(1)	なし
第 8 週	12/2	PPT で発表 (1)	第 10 課　「対比する」クラス活動	第 10 課　スピーチ作成
第 9 週	12/9	第 10 課　発表	第 11 課　「因果関係 1」クラス活動	第 11 課　スピーチ作成
第 10 週	12/16	第 11 課　発表	第 12 課　「変化を説明する」クラス活動	第 12 課　スピーチ作成
第 11 週	1/6	第 12 課　発表	第 13 課　「分析する」クラス活動	第 13 課　スピーチ作成
第 12 週	1/20	第 13 課　発表	第 14 課　「因果関係 2」クラス活動	第 14 課　スピーチ作成
第 13 週	1/27	第 14 課　発表	第 15 課　「出来事を語る」クラス活動	第 15 課　スピーチ作成
第 14 週	2/3	第 15 課　発表	PPT で発表 (2)	なし
第 15 週	2/10	PPT で発表 (2)		

教科書・教材等	『初級からのスピーチ：国・文化・社会についてまとまった話をするために』 （国際交流基金関西国際センター，凡人社，ISBN=978-4-89358-564-6）
成績評価の方法・基準等	(1) スピーチ作成：30%　(2) スピーチ発表：60%　(3) 授業への参加度：10% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・1&2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級 I 読解			
担当教員名	松尾まゆ美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	意見文や説明文など，まとまった長さの文章を理解できる。また文意を捉えるだけではなく，他者と意見交換をしながら思慮を深め，日本語表現能力を高める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

1. 意見文，説明文などまとまった長さの文を読み，内容を理解する。
2. 文法や語彙，漢字を学び，使えるように練習する。
3. 作文，発表などで学んだことを使い，自分の伝えたいことを表現する。

第 1 週	10/1	オリエンテーション　　Unit1「自己紹介と本当の自分」
第 2 週	10/8	Unit1「自己紹介と本当の自分」
第 3 週	10/15	Unit3「ジェンダーを考える」
第 4 週	10/29	Unit3「ジェンダーを考える」
第 5 週	11/5	Unit4「ことばと文化」
第 6 週	11/12	Unit4「ことばと文化」
第 7 週	11/19	Unit5「心と体のバランス」
第 8 週	11/26	Unit5「心と体のバランス」
第 9 週	12/3	Unit6「働くということ」
第 10 週	12/10	Unit6「働くということ」
第 11 週	12/17	Unit8「環境のためにできること」
第 12 週	1/7	Unit8「環境のためにできること」
第 13 週	1/14	Unit9「食の共同性」
第 14 週	1/21	Unit9「食の共同性」
第 15 週	1/28	Unit10「笑いのちから」
第 16 週	2/4	まとめのテスト

教科書・教材等	『新　中級から上級への日本語』（the Japan Times）
成績評価の方法・基準等	授業への参加度：30% 各回のクイズ：20%　　まとめのテスト：30%　　提出物：20%。 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	月曜日・5 校時／木曜日・2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅰ総合			
担当教員名	永井智香子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	映画や長崎を紹介するビデオを用いて，日本語の語彙や日本に関する知識を増やす。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

月曜クラス（映画を使用）と木曜クラス（テーマは長崎）に分けて授業を進めます。

第 1 週	9/30	オリエンテーション	10/3	オリエンテーション
第 2 週	10/7	映画①視聴	10/10	長崎関連ビデオ視聴
第 3 週		祝日	10/17	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 4 週	10/21	映画①視聴	10/24	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 5 週	10/28	小テスト　発表	10/31	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 6 週		祝日	11/7	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 7 週	11/11	映画②視聴	11/14	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 8 週	11/18	映画②視聴	11/21	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 9 週	11/25	小テスト発表	11/28	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 10 週	12/2	映画③視聴	12/5	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 11 週	12/9	映画③視聴	12/12	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 12 週	12/16	小テスト　発表	12/19	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 13 週	12/23	映画④視聴		
第 14 週	1/6	映画④視聴	1/9	小テスト　長崎関連ビデオ視聴
第 15 週		祝日	1/16	小テスト　　発表会
第 16 週	1/20	小テスト　発表	1/23	発表会
第 17 週	1/27	映画⑤視聴		
第 18 週	2/3	映画⑤視聴		

教科書・教材等	プリント教材　DVD
成績評価の方法・基準等	月曜クラス：　発表：35%　　小テスト：20%　　感想シート：20% ワークシートと授業への取り組み：25% 木曜クラス：　小テスト 40%　　発表 30%　　授業への取り組み 30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	・最終的なシラバスは授業初日に配布します。変更の可能性有。 ・私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	木曜日・1&2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅱ総合 A			
担当教員名	夛田美有紀		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本人が使っている日本語について多角的にみることにより，日本語でのコミュニケーションについて理解を深める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

地域差，世代差，性差などによる言葉遣いの違いはどの言語にもありますが，話をするための前提や会話の進め方などは言語で異なります。この授業では，日本語が使われている状況や背景を知ることにより，その日本語を使う（あるいは使わない）ことについて，グループ活動や個人作業で考えます。

第 1 週	10/3	オリエンテーション，第 1 章　社会言語学とはなにか
第 2 週	10/10	第 3 章　言語のバリエーション　2　地域方言とはなにか
第 3 週	10/17	第 3 章　言語のバリエーション　3　社会方言とはなにか
第 4 週	10/24	第 3 章　言語のバリエーション　5　ジェンダーと言語
第 5 週	10/31	第 3 章　言語のバリエーション　6　年齢と言語
第 6 週	11/7	第 3 章　言語のバリエーション　1　ウィリアム・ラボフの古典的研究
第 7 週	11/14	第 3 章　理解チェックテスト
第 8 週	11/21	第 4 章　言語とコンテキスト　2　スピーチ・アコモデーション
第 9 週	11/28	第 4 章　言語とコンテキスト　3　ポライトネス・ストラテジー
第 10 週	12/5	第 4 章　言語とコンテキスト　3　ポライトネス・ストラテジー
第 11 週	12/12	第 4 章　言語とコンテキスト　4　力と仲間意識
第 12 週	12/19	第 4 章　言語とコンテキスト　1　オーディエンス・デザイン
第 13 週	1/9	第 4 章　理解チェックテスト
第 14 週	1/16	第 5 章　社会言語学とその周辺　4　異文化間コミュニケーション
第 15 週	1/23	第 5 章　社会言語学とその周辺　4　異文化間コミュニケーション

教科書・教材等	『社会言語学入門』（東照二著，研究社）
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度：5%　理解チェックテスト：10%×2 回＝20% グループ活動：5%×9 回＝45%　個人作業：10%×3 回＝30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・1&2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅱ総合 B			
担当教員名	中村桂子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	テキストの内容を正確に理解した上で，一つの見方にとらわれない柔軟的な思考やその内容・構成が検討できるようになることを目指す。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

各課に入る前の準備として内容に関連する質疑応答を行い，各課の最後には各自の意見を記述や口頭で発表し合う。

第 1 週	10/1	プロローグ　クリティカル・リーディングへの扉
第 2 週	10/8	第 1 課　私のニュースの読み方
第 3 週	10/15	第 2 課　価値の一様性
第 4 週	10/29	第 3 課　言葉の起源をもとめて
第 5 週	11/5	第 4 課　経済学とは何か
第 6 週	11/12	第 5 課　思いやり
第 7 週	11/19	第 6 課　住まい方の思想
第 8 週	11/26	第 7 課　決まった道はない。ただ行き先があるのみだ
第 9 週	12/3	未定
第 10 週	12/10	第 8 課　メディアがもたらす環境変容に関する意識調査
第 11 週	12/17	第 9 課　改訂　介護概論
第 12 週	1/7	第 10 課　ことばの構造，文化の構造
第 13 週	1/14	第 11 課　観光で行きたい国はどこ
第 14 週	1/21	第 12 課　化粧する脳
第 15 週	1/28	チャレンジ　クリティカル・リーディングを磨こう！
第 16 週	2/4	未定

教科書・教材等	『読む力（中上級）』（奥田純子（監），くろしお出版）
成績評価の方法・基準等	積極的な授業参加を重視する。 授業参加度（出席・授業態度）：50％　　課題：20％　　提出物：30％ 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。また，各課が終わった後に提出する課題は，その内容も評価の対象になります。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	授業予定の本文を予習しておくことが前提。 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90％となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（日本の地理・歴史・政治）			
担当教員名	古本裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 中上級レベルの文章を正確に理解できるようになる。 (2) 自他の文化，考え，言語への理解を深めた後，その背景の分析や問題解決ができるようになる。 (3) ICT を使って，日本語で効果的なプレゼンテーションや情報伝達ができるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書に沿って授業を進めます。1 つのテーマにつき，3〜4 コマを使います。

第 1 週	10/1	オリエンテーション，チームで今後のスケジュールについて話し合う
第 2 週	10/8	第 1 課「日本の地理」　ウォーミングアップ
第 3 週	10/15	第 1 課「日本の地理」　内容理解・練習
第 4 週	10/29	第 1 課「日本の地理」　グループ発表【長崎 PR「私の街に来てください」】
第 5 週	11/5	第 11 課「日本の歴史」　ウォーミングアップ
第 6 週	11/12	第 11 課「日本の歴史」　内容理解(1)・練習
第 7 週	11/19	第 11 課「日本の歴史」　個人発表準備【あまり知られていないけど，好きな歴史上の人物 】
第 8 週	11/26	第 11 課「日本の歴史」　発表・内容理解(2)
第 9 週	12/3	第 14 課「日本の政治」　ウォーミングアップ
第 10 週	12/10	第 14 課「日本の政治」　内容理解(1)・練習
第 11 週	12/17	第 14 課「日本の政治」　内容理解(2)
第 12 週	1/7	第 14 課「日本の政治」　試験
第 13 週	1/14	第 15 課「世界と私の国の未来」　ウォーミングアップ
第 14 週	1/21	第 15 課「世界と私の国の未来」　内容理解・練習
第 15 週	1/28	第 15 課「世界と私の国の未来」　レポート準備【自分の国の問題〜世界的な問題】

教科書・教材等	『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語：上級へのとびら』 （岡まゆみ他，くろしお出版）
成績評価の方法・基準等	(1) プロジェクト 1（教科書関連：発表 2 回，試験 1 回，レポート 1 回）：60% (2) プロジェクト 2（facebook への投稿）：30%　(3) 授業への参加度：10% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	水曜日・1 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（越境学序論）			
担当教員名	松島大輔		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	①日本理解に向けた実践的アプローチの習得 ②母国と日本の文化的，言語的差異に注目 ③日本語運用能力（ビジネス日本語の基礎と表現力）の確保			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

日本の経済社会と母国との文化的，社会的，経済的ギャップに着目し，その内容を明らかにするメソッドとアウトプットを求めます。そのため，実際に調査した内容を踏まえて発表し，意見交換を行うことで，母国をものさしにした日本の経済社会の現状を抉ります。

第 1 週	10/2	ガイダンス～異文化理解
第 2 週	10/9	越境的差異
第 3 週	10/16	具体的な調査とその方法
第 4 週	10/23	発表 1
第 5 週	10/30	発表 2
第 6 週	11/6	発表 3
第 7 週	11/13	発表 4
第 8 週	11/20	発表 5
第 9 週	11/27	中間レビュー
第 10 週	12/4	発表 1
第 11 週	12/11	発表 2
第 12 週	12/18	発表 3
第 13 週	1/8	発表 4
第 14 週	1/15	発表 5
第 15 週	1/23	まとめ

教科書・教材等	『空洞化のウソ』　その他必要に応じて資料を配付
成績評価の方法・基準等	授業参加：10%　　発表：30%　　レポート：60% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	月曜日・2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（現代日本社会の諸相）			
担当教員名	松本久美子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	読み物や体験を通して日本社会の様々な側面に触れ，それらを自文化と比較することによって，現代日本社会についてよりよく理解できるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

以下に示すテーマについて学習し，意見交換を行う。テーマに関する資料は授業初日に配布する。

第 1 週	9/30	オリエンテーション・日本の生活事情
第 2 週	10/7	日本の教育（1）：小学校～高校
第 3 週	10/21	日本の教育（2）（ゲスト講師）
	10/26（土）	塾訪問：グループ①　13：30～16：00（集合 13：00）
	10/27（日）	塾訪問：グループ②　13：30～16：00（集合 13：00）
第 4 週	10/28	日本の教育（3）：塾訪問の振り返り・レポート①作成準備
第 5 週	11/11	日本の教育（4）：大学　　レポート①提出
第 6 週	11/18	日本の教育（5）：大学生活
第 7 週	11/25	発表準備
第 8 週	12/2	発表
第 9 週	12/9	日本人の食生活（1）
第 10 週	12/16	日本人の食生活（2）
第 11 週	12/23	休講：代休（10/26・10/27 分）
第 12 週	1/6	日本人の宗教心
第 13 週	1/20	現代日本の家族（1）
第 14 週	1/27	現代日本の家族（2）・レポート②提出
第 15 週	2/3	休講：代休（10/26・10/27 分）

教科書・教材等	プリント配布
成績評価の方法・基準等	授業への参加度：30% 課題（レポート等）：40% グループ発表：30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	月曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本探究（メディアで学ぶ日本の文化と社会）			
担当教員名	永井智香子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	①日本の文化，社会，歴史などに関するさまざまな側面を紹介するテレビ番組を視聴することを通じて，日本について知る。②①の活動を通じて，日本語の語彙を増やす。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

授業はプリント教材にそって進めます。

第 1 回	9/30	オリエンテーション　ウォーミングアップ
第 2 回	10/7	日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 3 回	10/21	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 4 回	10/28	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 5 回	11/11	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 6 回	11/18	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 7 回	11/25	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 8 回	12/2	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 9 回	12/9	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 10 回	12/16	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 11 回	12/23	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 12 回	1/6	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 13 回	1/20	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 14 回	1/27	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴
第 15 回	2/3	小テスト　日本の文化，社会，歴史などに関するテレビ番組を視聴

教科書・教材等	プリント教材
成績評価の方法・基準等	小テスト：40% レポート：30% 授業への取り組み：30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	・最終的なシラバスは授業初日に配布します。変更の可能性有。 ・私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・5 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本の文化・社会・言語 I			
担当教員名	夛田美有紀		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本語と文化や社会の関係について，深く理解することができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

日本語と日本文化や日本社会との関係についての講義を理解し，グループで研究テーマを決める。翌週，中間発表と発表準備を行う。3週目にグループで発表を行う。

第 1 週	10/1	オリエンテーション，研究・調査のしかた①
第 2 週	10/8	休講
第 3 週	10/15	研究・調査のしかた②
第 4 週	10/29	グループ活動のしかた，発表のしかた
第 5 週	11/5	テーマ①講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）
第 6 週	11/12	テーマ①中間発表，グループ活動（発表準備）
第 7 週	11/19	テーマ①グループ発表
第 8 週	11/26	テーマ②講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）
第 9 週	12/3	テーマ②中間発表，グループ活動（発表準備）
第 10 週	12/10	テーマ②グループ発表
第 11 週	12/17	テーマ③講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）
第 12 週	1/7	テーマ③中間発表，グループ活動（発表準備）
第 13 週	1/14	テーマ③グループ発表
第 14 週	1/21	テーマ④講義，グループ活動（テーマと研究方法を決める）
第 15 週	1/28	テーマ④中間発表，グループ活動（発表準備）
第 16 週	2/4	テーマ④グループ発表

教科書・教材等	10 月 1 日に渡します。
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度：5% 中間発表：10%　　発表：15%×4＝60% 発表への質問：5% グループ活動への参加度：5%×4＝20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	火曜日・5 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本の文化・社会・言語 I			
担当教員名	古本裕美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	(1) 自他の文化，考え，言語への理解を深める。　(2) 身近な話題についてクラスメイトと話し合いながら，そこに見られる課題を主体的に考え，解決できるようになる。　(3) ICT を使って，効果的なプレゼンテーションや情報伝達ができるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

プロジェクト①では，長崎大学内で「日本語café」を企画・運営します。プロジェクト②では，長崎大学に新しく来る留学生のために，動画を作ります。これらのプロジェクトを通し，留学生の視点で長崎・日本を考え，それらをより良くするための提案をします。

第 1 週	10/1	オリエンテーション　【日本語 café プロジェクト】　Step1 説明・内容理解
第 2 週	10/8	【日本語 café プロジェクト】　Step2 計画
第 3 週	10/15	【日本語 café プロジェクト】　Step3 中間発表
第 4 週	10/29	e-mail の書き方
第 5 週	11/5	ケーススタディ①　「困っていることは何？」
第 6 週	11/12	会話練習①　「許可を求める」
第 7 週	11/19	会話練習②　「ほめる」
第 8 週	11/26	ケーススタディ②　「どうして掃除してくれないの？」
第 9 週	12/3	ケーススタディ③　「言いにくいことをどう伝える？」
第 10 週	12/10	【日本語 café プロジェクト】　Step4 発表準備
第 11 週	12/17	【日本語 café プロジェクト】　Step5 発表
第 12 週	1/7	【長大紹介プロジェクト】　Step1 説明・内容理解・計画
第 13 週	1/14	【長大紹介プロジェクト】　Step2 作業
第 14 週	1/21	会話練習③　「誘う」
第 15 週	1/28	【長大紹介プロジェクト】　Step3 発表

教科書・教材等	参考：『留学生のためのケースで学ぶ日本語』，『多文化社会で多様性を考えるワークブック』，『みがけ！コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』
成績評価の方法・基準等	(1) 日本語 café プロジェクト：60%　(2) 長大紹介プロジェクト：15% (3) 授業への参加度：15%　(4) e-mail の宿題：5%　(5) ワークシートの宿題：5% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	金曜日・5校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本のアニメ			
担当教員名	山田健太郎		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	1. 日本のアニメの歴史についての基礎的な知識をみにつける。 2. 日本のアニメの特徴の基礎的な知識をみにつける。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

最初に，アニメーション表現の基本的な仕組みを説明し，そのあと，日本アニメがどのように展開してきたのかを説明する。毎回具体的な作品を取り上げ，その当時の日本社会や，その作家の背景との関連も取り上げながら，作品について検討することで，自主的な理解が達成されるようにこころがける。さらに，グループに分かれて，発表を行うことで，主体的な学びの要素を取り入れる。

第 1 週	10/4	オリエンテーション・アニメとは何か・日本アニメのはじまり
第 2 週	10/11	手塚治虫と『鉄腕アトム』
第 3 週	10/18	1960 年代のアニメブーム
第 4 週	10/25	『ドラえもん』
第 5 週	11/1	『宇宙戦艦ヤマト』と第 2 次アニメブーム
第 6 週	11/8	『機動戦士ガンダム』の世界
第 7 週	11/15	『アンパンマン』の世界
第 8 週	11/22	『アキラ』と表現の革新
第 9 週	11/29	『セーラームーン』現象
第 10 週	12/6	『新世紀エヴァンゲリヲン』
第 11 週	12/13	『ポケモン』とメディアミックス
第 12 週	12/20	宮崎駿のアニメ（『となりのトトロ』）
第 13 週	1/10	『となりのトトロ』と日本社会
第 14 週	1/24	アニメの翻訳
第 15 週	1/31	プレゼンテーション発表会

教科書・教材等	プリントを適宜配布する。
成績評価の方法・基準等	毎回の授業のリアクション・ペーパーと意見の発表等：30% 最終回の授業でのプレゼンテーション：30% 最終レポート：20% 確認小テスト（授業中に実施：4回）：20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	欠席については，原則その理由を説明すること（後日でも可）。病欠等の場合は，そのことを証明するものの提示が望ましい（領収証コピー等でも可）。

2019年度　後期	曜日・校時	木曜日・5校時	コマ数	1コマ
授業科目	【JLCP】日本文学A			
担当教員名	常吉幸子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	スムーズに日本語で作品を朗読でき，身心で作品を受けとめて表現できる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

文学は，私たちの身心と結びついた「生きた」ものである。その「生きた」文学を体感するために，作品を深く味わい，内在化し，それを身体表現として朗読する実践を通して，さらに作品と作品の構造を理解することを目指す。グループ学習を中心とする。

第1週	10/3	日本の近代文学と「標準的日本語」　「旅上」朗読練習
第2週	10/10	日本近代小説の（とってもつまんない）はじまり　「寂しき春」朗読練習
第3週	10/17	オッベルと象　第1回　第一日曜　オッベルのキャラクターと「雨ニモマケズ」
第4週	10/24	オッベルと象　第2回　第一日曜のつづき　白象のキャラクター　全体通読の担当
第5週	10/31	オッベルと象　第3回　全体通読とテーマを考えるグループ学習
第6週	11/7	オッベルと象　第4回　第二日曜の精読とその意味
第7週	11/14	オッベルと象　第5回　第五日曜の精読と「月」と「童子」と「仲間」
第8週	11/21	オッベルと象　第6回　第五日曜の精読とオッベル再考　テーマ再考　永訣の朝担当
第9週	11/28	永訣の朝　第1回　全体通読とテーマを考えるグループ学習
第10週	12/5	永訣の朝　第2回　兄の意図　妹の意図　その示すものは？　テーマ再考
第11週	12/12	なめとこ山の熊　第1回　282頁精読　語り手は誰？
第12週	12/19	なめとこ山の熊　第2回　283頁精読　熊は小十郎を好きなのだという語り手は誰？
第13週	1/9	なめとこ山の熊　第3回　284頁精読　熊の母子物語の構図
第14週	1/16	なめとこ山の熊　第4回　285頁精読　町の小十郎物語の意味するものは？
第15週	1/23	なめとこ山の熊　第5回　小十郎の死の物語精読
第16週	1/30	朗読試験と作品についての「感想文」および「相互批評」提出。

教科書・教材等	毎回ハンドアウトを配付
成績評価の方法・基準等	朗読試験：30%　感想文と相互批評：30% 平常点（授業への積極的参加）：40% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	正確な「読み」の確認と作品理解，朗読の練習を毎回してくること。 私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	月曜日・4校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】日本の伝統文化			
担当教員名	夛田美有紀（主）		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本の伝統文化についての講義を聞き，体験することにより，日本文化への理解を深める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

（和室）と書いてある日は，和室で授業をします。和室の場所は，オリエンテーションで説明します。

第 1 週	9/30	オリエンテーション，長崎について	夛田美有紀
第 2 週	10/7	講義 1　異文化交流	大坪喜子
第 3 週	10/21	講義 2　日本人の気質（武士道，礼儀など）	林　邦昭
第 4 週	10/28	講義 3　水琴窟と音の文化	後藤信行
第 5 週	11/11	講義 4　長崎の豪雨と台風	荒生公雄
第 6 週	11/18	講義 5　水との暮らし；長崎	野口正人
第 7 週	11/25	講義 6　日本語の敬意表現，態度	山本建雄
第 8 週	12/2	日本舞踊①（和室）	
第 9 週	12/9	日本舞踊②（和室）	
第 10 週	12/16	日本舞踊③（和室）	
第 11 週	12/23	華道①	
第 12 週	1/6	華道②	
第 13 週	1/20	華道③	
第 14 週	1/27	着物（和室）	
第 15 週	2/3	「私の見た長崎」発表	

12 月 2 日（月）から 1 月 27 日（金）までは仮のスケジュール（a tentative schedule）です。

教科書・教材等	必要に応じて配布
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度：25% 講義レポート：25% 文化体験レポート：25% 発表：25% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2019 年度　後期	曜日・校時	月曜日・1校時	コマ数	1 コマ
授業科目	【JLCP】茶道			
担当教員名	高木裕子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	茶道の初歩の点前を習得することを通して，日本文化を理解する心を持つ。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

裏千家茶道の入門実技を通して，茶道具だけでなく，着物，書などについても学びます。学期末には，生徒たちで茶会を開く事を目指します。

第 1 週	9/30	オリエンテーション，自己紹介，茶道の歴史について
第 2 週	10/7	茶のいただき方，お菓子のいただき方，茶道具の説明
第 3 週	10/21	ふくさ捌きの練習，茶道具の清め方と茶を点てる練習
第 4 週	10/28	茶会についての説明と，茶道具のしまい方
第 5 週	11/11	茶会につての説明，点前の練習①
第 6 週	11/18	茶会の計画と役割分担，点前の練習②
第 7 週	11/24	茶会体験～長崎歴史文化博物館にて茶会体験～
第 8 週	11/25	茶会のお菓子を検討，点前の練習③
第 9 週	12/2	茶会を想定した点前の練習④
第 10 週	12/9	茶会を想定した点前の練習⑤
第 11 週	12/16	茶会のリハーサル
第 12 週	12/21（土）	茶会の準備
第 13 週	12/23	茶会を開催
第 14 週	12/23	茶会を開催
第 15 週	1/6	まとめ，使用した道具の整理

教科書・教材等	こちらですべて準備します。
成績評価の方法・基準等	出席：90% （茶会への出席は必須とします。欠席は 3回まで。4回欠席すると単位は認めません。） 態度（準備や片づけへの参加）：10% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施するが，その場合，点数は獲得点数の 90%となる。

留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT（日本語能力試験）のレベル	CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のレベル
初級Ⅰ	初級前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度），語彙（800 語程度）を習得し，日常生活に必要な最低限度の会話ができ，平易な文，または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための，よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し，用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ，どこに住んでいるか，誰と知り合いか，持ち物などの個人的情報について，質問をしたり，答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり，はっきりと話して，助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し，日常生活に役立つ会話ができ，簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報，買い物，近所，仕事など，直接関係がある領域に関する，よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単で日常的な範囲なら，身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況，直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級前半	基本文法の応用ができ，漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し，一般的なことがら，日常的な話題について，簡単な会話ができ，読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事，学校，娯楽で普段出会うような身近な話題について，標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな，たいていの事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について，単純な方法で結びつけられた，脈絡のある文を作ることができる。 ・経験，出来事，夢，希望，野心を説明し，意見や計画の理由，説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し，少し高度な一般的なことがら，日常的な話題について，会話ができ，読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて，抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について，明確で詳細な文を作ることができ，さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級Ⅰ	上級前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し，大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から，情報，考え，意見を読み取ることができる。 ・論拠，論点を整然と展開して，エッセイやレポートを書くことができる。その際，重要な点や関連する補足事項の詳細を，適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また，説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し，それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際，要点を失わずに，関連する詳細情報を付け加えて，内容を補足できる。		
上級Ⅱ	上級後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し，大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ，含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに，流暢に，また自然に自己表現ができる。 ・社会的，学問的，職業上の目的に応じた，柔軟な，しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で，しっかりとした構成の，詳細な文を作ることができる。その際，文を構成する字句や接続表現，結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは，以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ　（5 単位，週 5 コマ）	中級Ⅰ読解（2 単位，週 2 コマ）	上級Ⅰ読解　（2 単位，週 2 コマ）
初級Ⅱ　（5 単位，週 5 コマ）	中級Ⅰ聴解（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅰ総合　（2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ会話（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 A　（2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ作文（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 B　（2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ漢字（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 C　（2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅱ読解（2 単位，週 2 コマ）	上級Ⅱ総合 D　（2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅱ聴解（1 単位，週 1 コマ）	日本語能力試験 N1 対策講座（1 単位，週 1 コマ）
	中級Ⅱ会話（1 単位，週 1 コマ）	
	中級Ⅱ作文（1 単位，週 1 コマ）	
	中級Ⅱ漢字（1 単位，週 1 コマ）	
	中級総合 A（1 単位，週 1 コマ）	
	中級総合 B（1 単位，週 1 コマ）	

＊週 1 コマとは，1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

（本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新）